

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

五省

- 一 至誠を悔るなかりしか
- 一言行に恥るなかりしか
- 一 氣力に盡るなかりしか
- 一 努力に憾みなかりしか
- 一 不精に直るなかりしか

21世紀の世の中は

科学のモノに奪われている夢

兼久 文治

新春随想



二十一年後
二年後に追
つた。その
ころは一体
どんな世の
中になつて
いるだろう。
ひとつ二十
一世紀の新
聞を作つて

「中学校のコンピューターシステムにハッカーが侵入し、システムの一部を破壊する事件が起こった。ライバル校の学習を妨害して進捗を遅らせるところが目的だった」として「小、中学生に、老人に似た症状のテクノ症が増えている」

「老人のさびしさをまぎらわすため、話す能力をもった『ふれあい123号』という高知能アンドロイドが登場した」

「超電導を生かしたアルミ合金が大好評。県内工場は大量注文に活気づいている」

「北日本新聞『天地位』執筆」

新しい年の努め

西能 正一郎

あけましておめでとございます。一九八八年の新春を皆様お揃いでおすこやかに迎えようと思っておりました。心よりおよろこび申し上げます。昨年、私共の病院は開院二十五周年の記念行事をすませ、第二の四半世紀の第一歩を踏み出した年でありました。二十五

「立たせよ」との思召しを受け止めております。ここ二、三年来、新年を迎えるたびに申してきたことですが、日本の医療は、今、行政の手によって、大きく方向転換しようとしており、着々と布石が進んでおります。国民医療費の増額は、ひとり日本のみならず、先進諸国では国の経済の基盤をゆるがして、悩みの種であります。中でも日本は、諸外国に比し高令化が急速に進んだために、急性経済破綻におちいっているであろう、というおそれが、行政官に改革の口実を与えているのであります。

「病める人 はねのけて、お役にたつ運用を」

弾力性のない医療改革

病める人 はねのけて、お役にたつ運用を

なるようにと、職員一同と模索しながら、色々な企画を実践して参りました。皆様喜んでいただけたものもあれば、ひとりよがりの不発に終わったものもあり、人間のやることなぞ成功、失敗相半ばしてあたりまえと納得せねばなりません。

「病める人 はねのけて、お役にたつ運用を」

「病める人 はねのけて、お役にたつ運用を」

あすなろ

「竜吟すれば雲おこり、虎うそげば風さわぐ」という。英雄がひとたび立つと大衆がこれに応じるさまをいつたもの。

「雲おこる」というのも竜は雨雲に乗って天に登るからだ。今年のエトはタツノ竜をタツと読むのはタチノボルからきたという説もある。ともかく縁起のいい動物だ。竜は「リュウ」と読みならわしているが正式の漢音は「リョウ」。坂本竜馬もリョウマと読む。「リョウの駒」といって竜のよううに天をかける駿馬のことだ。それでも油断をしてはいけません。「リョウの駒」にもけつまずき、馬から落ちて」といって昔のざれ歌がある。名人にもあやまちのたとえ。あの用心深い竜馬も一瞬のすきで刺客に殺され、駒のつまずきになった。竜は動物といつても想像上の動物で、年賀状のエトを絵に描く時は一番苦労する。昭和五十一年のタツ年には、なぜかタツノオトシゴの絵が多かった気がする。大蛇に似て背に八十一枚のウロコ、五本の指を持つ四つ足、頭に二本の角、口に二本のヒゲのある図が一般的だ。仏教には八大竜王信仰があり雨乞いや航海の守護神にしている。このところコメをはじめ農産物の自由化を迫られてきびしい農業。近海の不漁と北洋締め出しで苦境の漁業。今年は大竜王の力にすがって「いい年」にしたいタツ年である。

新年明けましておめでとうございます

昭和63年

医療法人 財団五省会

- | | | | |
|------|-------|----|----------|
| 理事 | 西能正一郎 | 理事 | 林敏彦 |
| 常務理事 | 米田寿吉 | 理事 | 岸口繁 |
| 理事 | 中尾哲雄 | 理事 | 西能綾子 |
| 理事 | 石川実 | 理事 | 菅田英二 |
| 理事 | 稲垣忠一 | 理事 | 井上塩六 |
| 理事 | 尾山征一郎 | 理事 | 大上紀美雄 |
| 理事 | 重松尚 | 理事 | 神沢幹夫 |
| 理事 | 西能孜 | 理事 | 西能竈 |
| 理事 | 坂本重一 | 理事 | 土田亮一 |
| 理事 | 豊田文一 | 理事 | 古沢富美 |
| 理事 | 堀政夫 | 理事 | 松井元太郎 |
| 理事 | 松井元太郎 | 理事 | 西能病院職員一同 |

可愛がつてももらえる病院づくりを

新春にあたり、西能院長は次のよう職員に呼びかけた。「同じ種類の仕事をやる企業がいくつもあるれば、その間に競争の原理が働くのは当然のことである。更にその間に行政の手が加われば、より複雑な展開をするであろう。今年は、それに打ち勝つ体力をつけねばならない。それは世の中がどう変わろうと、患者さんにかわいがつてももらえる病院づくりである。以下は昨年からの病院勤務の新人の抱負。

西能病院・新人の新春抱負

実力を養う研修に

あつという間の六ヵ月間で。外来診療や外傷への対応など、当初戸惑うことも多々ありましたが、実際に医療に携わっているという充実感もあり有意義な毎日でした。これからも実力を養うよう研修に励みたい。

(診療部・山本直也)

明るい病院作りに

今までは病院を外部から患者として眺め、利用してきましたが、今後は地域の人々に愛され、全

国から患者さんの集まる患者さん本位の楽しく明るい病院作りに努力したいと、心引き締まる思いがいたします。

(企画管理室・中永久光)

組織目標を理解して

表面的に経過してきた。今年を以て、今後は組織目標をより理解し、それに統合しうる個人目標を設定、達成したい。また、O A化による変化に対しても、仕事の基本

今年、カラーコードシステムの導入及び医事管理業務のコンピュータ化によるO A化が行なわれます。全職員の協力なくしては成し得ないと確信しております。すばらしいシステムの構築に全力投球で臨みます。

(医事課・小林稜)

技術的知識の向上を

業務の高度化(コンピュータ導入)が要請される状況下で、私自身、保険請求に対し技術的知識の向上及び解釈の理解をはかり、職場での役割を認識し「信頼と奉仕」をモットーに努力して行きたいと思っております。

(医事課・伊藤勝仁)

旺盛な意欲で

昨年は、社会という新しい環境での暗模索、仕事に追われる一方で皆様にも多分に、ご迷惑をおかけしました。今年はいよいよ、旺盛な意欲を持って充実した一年にしたいと思っております。

(診療部秘書・畑岸成美)

看護部

咲かせたい看護の花

毎日あわただしく時間が過ぎて行き、花を見るゆとりがありませんでした。先日息子が白いペコニアを持ち帰りました。この冬、室内で育てると言っております。私も看護に励み、看護の花を咲かせたいと思っております。

(谷井睦子)

患者さんの立場で

就職して九ヵ月が過ぎ振り返ると、看護業務に一杯の毎日でした。患者さんの目に、どのようにつつまのか、不安です。今年、患者さんの立場で考え、よい接遇をモットーに看護して行きたいと思っております。

(岡田智子)

患者さんの信頼を

新年を迎えて、時間を有効に使い、内面的にも自分自身を向上させるよう努力していきたい。そして、自信を持って患者さんと接し、患者さんに信頼していただける看護ができるようがんばりたいと思っております。

(田嶋典子)

心の通う看護を

私は一日一日を大切に過ごして行きたい。自分自身をしっかりとめ、人間として着実な、成長を心がけると共に、看護の知識と技術をみがき、患者さんと心の通い合う看護ケアに役立てたいと思っております。

(川端恵子)

いつも暖かい気持ちで

パート勤務の短い時間は、今までの経験を生か

O A化に全力投球

今年、カラーコードシステムの導入及び医事管理業務のコンピュータ化によるO A化が行なわれます。全職員の協力なくしては成し得ないと確信しております。すばらしいシステムの構築に全力投球で臨みます。

(医事課・小林稜)

技術的知識の向上を

業務の高度化(コンピュータ導入)が要請される状況下で、私自身、保険請求に対し技術的知識の向上及び解釈の理解をはかり、職場での役割を認識し「信頼と奉仕」をモットーに努力して行きたいと思っております。

(医事課・伊藤勝仁)

旺盛な意欲で

昨年は、社会という新しい環境での暗模索、仕事に追われる一方で皆様にも多分に、ご迷惑をおかけしました。今年はいよいよ、旺盛な意欲を持って充実した一年にしたいと思っております。

(診療部秘書・畑岸成美)

院内活動を積極的に

保健婦活動の原点に立ち返り、病気の患者さんだけでなく、健康な人々にもより多く接し、病院と地域のパイプ役となるよう心がけ、地域医療活動のエリア拡大と充実に向けて、院外活動を積極的に進めたいと思っております。

(中山恵美子)

ステキに生きたい

病院に勤務してまだ日が浅く、慣れず戸惑う毎日が続いています。今年、

喜んでもらえる看護

看護という道を志し看護学校に入り、又、病院で多くの患者さんと接し、看護とはどうあるべきかを、たえず自問してきた。今後本心に患者さんに喜んでもらえる看護を目指して頑張ります。

(看護専門学校看護学科学生・坂井一美)

期待にこたえよう

勤めた当初は解らないことが多く、緊張と不安の日々でしたが、患者さんと接している時が一番楽しくなりました。励まして下さる人もあり、期

信頼される看護婦に

勤めてから九ヵ月が過ぎました。「信頼される看護婦になりたい」。それが私の目標です。患者さんの訴えに耳を傾け、コミュニケーションをはかり、看護の知識と技術を身につけ、目標を達したいと思っております。

(同・坂東ひろみ)

知識をしっかりと

看護学生として、病院に就職して早くも九ヵ月が経ちました。職場、学校、寮生活の両立が大変です。学校で学ぶ知識、技術をしっかりと身につけ、積極的に患者さんの看護に役立てていきたいと思

しっかりと学び取り

病院に勤務して、社会人と看護学生としての立場の違いや、仕事の厳しさをみっちり体験しております。看護について、これからしっかりと学び取り、患者さんの信頼を得るため、一杯がらんばりたいと思っております。

(同・水野利映)

学びを看護の道へ

四月に就職して九ヵ月、多くの事を経験しました。それは患者さんへの対応の仕方や看護助手の業務について先輩から指導をうけました。学校で学んだ知識、技術をしっかりと身につけ、看護に励んでいきたいです。

(同・宮野由紀子)

謹賀新年

本年もよろしくお願ひ申し上げます

医療法人・西能病院職員一同

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 荒井 紀夫 | 西能 正一郎 | 永森 栄子 | 宮野 由紀子 |
| 飯田 喜美子 | 西能 綾子 | 布上 順子 | 宮原 佳子 |
| 石倉 喜一 | 坂井 美子 | 野原 かつみ | 村井 美佳 |
| 石黒 芳美 | 坂下 崇子 | 長谷川 実 | 村上 弘子 |
| 伊藤 勝仁 | 坂田 隆夫 | 長谷川 知栄子 | 村口 和子 |
| 井上 千恵子 | 島井 幸子 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 井上 みづ子 | 島崎 幸子 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 岩城 真由美 | 下崎 登子 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 江尻 秋子 | 上ヶ崎 厚子 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 江尻 栄子 | 上ヶ崎 厚子 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 老田 春夫 | 新川 さか子 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 大浦 春美 | 杉田 正治 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 大島 佐登美 | 杉林 清美 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 大場 真由美 | 杉村 雪子 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 大平 由美子 | 関村 洋子 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 岡田 久美子 | 高島 小夜子 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 岡田 智子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 岡本 桂子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 奥平 美和子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 各川 静子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 大日方 夏代 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 開沢 真由美 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 加藤 真奈美 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 金子 智恵子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 金子 昭典 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 川西 信子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 川端 憲子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 河辺 信子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 北浦 純子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 北野 泰弘 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 木下 佳代 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 木山 文雄 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 木山 貴子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 刑部 和子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 久保 美和子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 久保 睦夫 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 黒畑 喜美子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 光里 喜美子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 小谷 英美子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 小沢 優子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 小林 優子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |
| 小松 恵子 | 高畑 芳信 | 長谷川 恵子 | 村口 和子 |

以上、百五十九人
五十音順、昭和六十二年十二月末現在

